

会 議 録

会議の名称		令和 6 年度第 1 回荃崎学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 6 年 5 月 14 日（火）開会 9:00 閉会 11:00		
開催場所		つくば市立荃崎中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	稲川誠一、倉本茂樹、間中和美、横山暢彦、犬田鮎美 串田佳子、蟹沢美紗、二宮君弘、星 雄太、飯塚康弘 小澤 広、金井恵美委員、中嶋 修 荃崎中学校 : 校長 高野満美子、教頭 金子 仁 教務主任 佐野賢一 荃崎第二小学校 : 校長 渡部史恵、教頭 小倉仁子 教務主任 宮本卓也 荃崎第三小学校 : 校長 小林浩子、教頭 堤 誠吾 教務主任 小関洋介		
	その他			
	事務局	学び推進課参事：小野尚文 生涯学習推進課参事：山口健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 項（個人情報）に該当する情報が含まれるため。		
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学校の教育活動の紹介 3 授業参観 4 熟議「地域に生きる児童生徒を育てるための教育活動の在り方」～防災教育を中心に～		

		5 その他		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会		
	2	任命書交付、委嘱状交付		
	3	教育長挨拶		
	4	説明事項		
		つくば市のコミュニティ・スクール導入について		
	5	会長・副会長の選出		
	6	協議		
	(1)	学校運営の基本方針について		
	(2)	学校の教育活動の紹介		
	(3)	授業参観		
(4)	熟議「地域に生きる児童生徒を育てるための教育活動の在り方」～防災教育を中心に～			
(5)	その他			
7	閉会			

＜審議内容＞	
1 開会	事務局：ただ今から、令和6年度第1回 荃崎学園コミュニティ・スクール協議会を開会いたします。 はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として荃崎第三小学校教頭堤先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。 参加委員：お願いします。 事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いします。
2 任命書交付、	事務局：はじめに「任命書」の交付をいたします。任命書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。 （「任命書」を稲川委員に交付） 続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。 荃崎学園で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として飯塚委員、小澤委員、金井委員を荃崎学園から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、「地域学校協働活動推進員」を委嘱させていただきたいと思います。 （「委嘱状」を飯塚委員、小澤委員、金井委員に交付） ありがとうございました。お席にお戻りください。 なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され任期は1年と

なります。また、守秘義務等の責務がございます。御留意ください。

皆様の任命書については、机の上でございますのでご確認ください。委員の皆様のご自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただきます。御了承ください。

3 教育長挨拶

事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、学び推進課(参事)小野が代読いたします。

事務局：森田教育長の挨拶を代読させていただきます。

皆さんこんにちは。教育長の森田でございます。

本日はお忙しい中、第1回荃崎学園コミュニティ・スクール推進会議に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当推進会議の委員を快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

さて、近年の急激な社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化している状況があり、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。皆様にお配りしたつくば市教育大綱においても、「保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体でこどもの育ちの場を支える。」ことが、いま必要なこととされています。

こうした背景を踏まえ、つくば市では、「コミュニティ・スクール」を導入していくこととしました。「コミュニティ・スクール」は、学校と地域、保護者がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。また、学校を核とした交流を通して、地域の活性化を期待することもできます。

つくば市では、令和4年度に吾妻学園をモデル地域として先行的にコミュニティ・スクールを導入し、昨年度は8学園、今年度は新たに6学園で導入する計画です。その中で見えてきた課題としては、この仕組みをいかに地域に周知し、市民の方々の理解を得ていくかにあると思っています。そのため、教育局では、出前講座のメニューを新設するなど、「コミュニティ・スクール」の周知に努めているところです。

荃崎学園においては、本年度よりコミュニティ・スクールの導入が始まります。皆様には、それぞれの立場から、子どもたちの未来のために何ができるか、意見を出し合っていただければと考えています。つくば市の教育のさらなる充実に向け、どうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて御説明させていただきます。

事務局(村上社会教育主事)：生涯学習推進課社会教育主事村上と申します。よろしく願いいたします。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
 - 2 コミュニティ・スクールとは
 - 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは
- について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配布されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送る、ことを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めて行きたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走というスローガン」のもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものかを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと地域とともに子どもを育む学校と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。もっと踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

荃崎学園は今年度、協議会と言って、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょう。

現在、学校では、「いじめ、不登校」、「教員の業務量増加」、地域では、「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創

る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示ししている4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。

学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことからコミュニティ・スクール協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、コミュニティ・スクール協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まるコミュニティ・スクール協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べるができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員を求めることなどです。

④の機能として学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。先ほども申し上げましたとおり、茎崎学園は今年度協議会という法に基づいた本格設置となります。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか。何を実現したいのか。という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。

熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋に記し、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映してほしいという意図のもと、このようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪およびハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を

進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときには、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々とかかわりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々とかかわることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。新しいことをやらなくてもよい、運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきか、地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

- ①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること
- ②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること
- ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
- ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
- ⑤地域と学校が連携した様々な活動、地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる子どもたちのために御協力をよろしく願いいたします。以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。

5 会長・副会長の選出

事務局：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とあります。

昨年度、会長・副会長として活動していただいた中嶋委員と稲川委員は引き続き協議会委員になっていただいているので会長を中嶋委員に、副会長を稲川委員にお願いしたいと提案させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

中嶋会長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、各学校より御説明をお願いします。

荏崎学園（高野校長）：学園グランドデザイン（学園要覧）の説明

- ・学園目標「自ら学び 豊かな人間性とたくましさを備え 未来を切り拓く児童・生徒の育成」
- ・組織目標「個別最適な学びと協働的な学びをマネジメントし、学力向上を図る。」
「互いを認め合い、自己肯定感を高める教育を推進する。」
「保護者・地域と連携・協働し、地域とともにある学園づくりを推進する。」

荃崎第二小学校（渡部校長）：荃崎第二小学校グランドデザインの説明

- ・教育目標「夢と希望の実現に向けて、心豊かにたくましく生きる児童の育成」
- ・組織目標「学ぶ楽しさを味わわせる授業づくりを通して、自ら学ぶ子を育てる。」
「よさを認め合う集団づくりを通して、自他を大切にする子を育てる。」

荃崎第三小学校（小林校長）：荃崎第三小学校グランドデザインの説明

- ・教育目標「自ら考え、進んで行動し、心やさしく、たくましい児童の育成」
～夢や希望を抱き、一人一人が輝く学校づくり～
- ・組織目標「学び続ける力を育む授業づくり」
～ふしぎを仲間と分かるまで～
「一人一人が自己決定し、認め合い高め合う集団づくり」
～チーム三小～

荃崎中学校（高野校長）：荃崎中学校グランドデザインの説明

- ・教育目標「主体的に学び 人とのかかわりを大切にする 心身ともにたくましい生徒の育成」
- ・組織目標「生徒の成長が実感できる授業力・学級力の向上」
「互いを尊重し合える豊かな心を育む教育活動の展開」

(2) 学校の教育活動の紹介

荃崎第二小学校（小倉教頭）荃崎第二小学校の説明

- ・地域愛、防災力 縦割り班によるウォークラリーを予定している
- 二小祭 地域の防災設備や危険箇所をチェックポイントにする

荃崎第三小学校（堤教頭）：荃崎第三小学校の説明

- 地域の人的・物的資源を活用した教育活動
 - ・つくばスタイル科、生活科での協力
 - ・隣接幼稚園との交流
 - ・登下校、校庭の除草、剪定支援ボランティアの協力
 - ・感謝の気持ちを伝える「三小祭」の実施

荃崎中学校（金子教頭）：荃崎中学校の説明

- ・部活動の地域移行 R10 完全移行を目指しているが指導者がいない地域で指導者がいれば
- ・遠隔教育 常盤大教授にオンラインでプログラミングを学ぶ

中嶋会長：先生方御説明ありがとうございました。先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成

する学校運営の基本方針の承認」があります。委員の皆様にグランドデザインへの承認をお願いしたいと思います。令和6年度学園・各校のグランドデザインを御承認いただける方は拍手をお願いいたします。

参加委員：(拍手)

中嶋会長：ありがとうございました。校長先生方におかれましては、本内容にて学校運営をお願いいたします。

(3) 熟議

中嶋会長：続いて、熟議に移りたいと思います。ファシリテーターを荃崎中学校の金子先生をお願いして、よろしいでしょうか。

金子教頭：(承認)

中嶋会長：お引き受けくださりありがとうございます。では、先生よろしくをお願いいたします。

金子教頭：昨年度末防災を軸に地域愛をテーマに進めてきました。隣の部屋に移り、学校ごとに話し合いを進めてください。次の会で報告になります。

・各グループでの熟議 30 分間

中嶋会長：ファシリテーターの金子先生ありがとうございました。最後に委員のみなさんから何かありますでしょうか。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。皆様、スムーズな運営にご協力いただきありがとうございました。

参加委員：(拍手)

事務局：中嶋会長、協議進行、ありがとうございました。本日の会議の内容は以上となります。

なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。

また、お手元に「つくば市コミュニティ・スクール評価ガイドライン」を配布させていただいております。こちらは、市教育委員よりコミュニティ・スクールの運営にあたり念頭においていただきたいと示されたものです。提出を求めるものではございません。折々において御活用いただければと思います。

以上をもちまして、令和6年度第1回荃崎学園コミュニティ・スクール協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度第1回茎崎学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和6年5月14日（火）

9：00～

場所：茎崎中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 教育長挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動の紹介

(3) 授業参観

(4) 熟議

テーマ「地域に生きる児童生徒を育てるための教育活動の在り方」

～防災教育を中心に～

(5) その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

令和6年度 荃崎学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回: 5月14日 火曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	稲川 誠一	元コミュニティ・スクール推進会議構成員 元学校評議員
2	(1) 地域住民	倉本 茂樹	元コミュニティ・スクール推進会議構成員 元学校評議員
3	(1) 地域住民	間中 和美	元コミュニティ・スクール推進会議構成員 元学校評議員
4	(1) 地域住民	小島 弘子	元学校評議員
5	(2) 児童・生徒の保護者	横山 暢彦	PTA副会長
6	(2) 児童・生徒の保護者	犬田 鮎美	PTA書記
7	(2) 児童・生徒の保護者	串田 佳子	PTA会長
8	(2) 児童・生徒の保護者	蟹沢 美紗	PTA会長
9	(2) 児童・生徒の保護者	二宮 君弘	PTA会長
10	(2) 児童・生徒の保護者	星 雄太	PTA副会長
11	(3) 地域学校協働活動推進員	飯塚 康弘	元コミュニティ・スクール推進会議構成員 荃崎第二小PTA会長
12	(3) 地域学校協働活動推進員	小澤 広	元コミュニティ・スクール推進会議構成員 元荃崎第三小PTA会長
13	(3) 地域学校協働活動推進員	金井 恵美	青少年相談員 学校生活相談員
14	(4) 学識経験者	中嶋 修	元コミュニティ・スクール推進会議構成員 元荃崎中学校校長
15	(5) 学校長	渡部 史恵	
16	(5) 学校長	小林 浩子	
17	(5) 学校長	高野満美子	
18	(6) 教職員	小倉 仁子	教頭
19	(6) 教職員	宮本 卓也	教務主任
20	(6) 教職員	堤 誠吾	教頭
21	(6) 教職員	小関 洋介	教務主任
22	(6) 教職員	金子 仁	教頭
23	(6) 教職員	佐野 賢一	教務主任

令和6年度

茎崎学園グランドデザイン



つくばの学び

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園

～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校～



学園目標 自ら学び 豊かな人間性とたくましさを備え 未来を拓く児童・生徒の育成

学園組織目標

- ❖ 個別最適な学びと協働的な学びをマネジメントし、学力向上を図る。
- ❖ 互いを認め合い、自己肯定感を高める教育を推進する。
- ❖ 保護者・地域と連携・協働し、「地域とともにある学園づくり」を推進する。

< 学び続ける力 >

* 個別最適で協働的な学び

- ・ 探究的な学びの推進
- ・ 思考力、表現力を高める指導の工夫
- ・ 多様な学びの場の推進
- ・ 1人1台端末の効果的活用
- ・ 家庭学習の手引きの活用
- ・ 読書活動の推進

< 豊かな人間性 >

* 自己肯定感の向上

- ・ 郷土を愛する心の育成
- ・ ルールメイキングの推進
- ・ あいさつ、黙働清掃の推進
- ・ キャリア教育の推進
- ・ 考え議論する道徳の推進
- ・ 保幼小中連携の充実

< 健康・安全・体力 >

* 自己管理能力の育成

- ・ 児童生徒、学校の防災力の向上
- ・ 食育の推進
- ・ 多様性の理解促進
- ・ 合同避難訓練、地域防災会議の充実
- ・ 救命教育の推進
- ・ 体育的交流活動の推進

学園組織

学園運営協議会の設置

【コミュニティ・スクールの運営】

校長会

教頭会

教務主任会

学び続ける力部会

豊かな人間性部会

健康・安全・体力部会

児童・生徒の
学びの姿

【教職員の資質向上】 マネジメント力（授業・学級経営・学校運営）の向上、働き方改革・部活動改革の推進、研修の充実、コンプライアンスの徹底

第1学年～第4学年 （基礎・基本習得期）

- ・ 学びの基本を身に付ける
- ・ 相手の気持ちを考えて行動する
- ・ 楽しく運動し、健やかな身体をつくる

第5学年～第7学年 （基礎活用・応用期）

- ・ 探究的な学びを充実させる
- ・ 他を認め、自分のよさを生かして行動する
- ・ たくましい心身をつくる

第8学年～第9学年 （進歩・発展期）

- ・ 未来を拓く学びを自覚する
- ・ 地域社会に貢献する
- ・ 自己管理能力を高める

令和6年度 基崎中学校グランドデザイン

本県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学校教育目標】

主体的に学び
人とかかわりを大切にする
心身ともにたくましい 生徒の育成

本市教育大綱

- 「教え」から『学び』へ
- 「管理」から『自己決定』へ
- 「認知能力偏重」から
『非認知能力の再認識』へ

めざす学校像

- ・楽しく、感動のある学校
- ・安全、安心に生活できる学校
- ・教育環境の整ったきれいな学校
- ・保護者、地域住民に信頼される開かれた学校

めざす生徒像

- ・共に聴き合い、学び合える生徒
- ・自分で考え判断し、行動できる生徒
- ・心豊かで、礼儀正しい生徒
- ・心身を鍛え、がんばりのきく生徒
- ・人のために奉仕できる生徒

めざす教師像

- ・明るく活力に満ちた教師
- ・子どもに寄り添い、人間性豊かな教師
- ・効果的な学びをデザインできる教師
- ・協働し、柔軟で向上心のある教師
- ・学び合い、学び続ける教師

組織目標

- 生徒の成長が実感できる授業力・学級力の向上
- 互いを尊重し合える豊かな心を育む教育活動の展開

主体的な学びを展開する生徒の育成

◆主体的・対話的で深い学びの授業づくり

- ・問いが生まれる授業の導入
- ・学習の基盤となる基礎力の徹底
- ・読解力や論理的思考力を高める指導の展開
- ・対話を通じて養う合意的形成力
- ・「考えさせられる授業」から「考える授業」へ
- ・ICT機器を活用した個別最適な学びの推進
- ・小中一貫教育による系統的な学びの推進
- ・外部人材や地域資源の積極的な活用

自ら学ぶ

思いやりある生徒の育成

◆個が認められ、生かされる学年・学級経営

- ・『命』を大切にする教育
- ・グッドモデルの称賛
- ・自己有用感を高める学級経営
- ・「考え、議論する」道徳授業の積み重ね
- ・互いに認め合い、支え合い、高め合う学級経営
- ・明るいあいさつ、人の役に立つ行動
- ・教育的ニーズを意識した特別支援教育
- ・人権意識を育てる環境整備

自らを生かす

主体的に行動できる生徒の育成

◆自治的能力や社会力の育成

- ・生徒会、実行委員会制度の進化と充実
- ・自分達の課題に主体的に向き合う態度の育成
- ・クリティカルな視点から生まれる改善策
- ・9年間を意識した規範意識の醸成（ルールメイク）
- ・自己判断力を育てる防災教育
- ・系統性を生かした9年間のキャリア形成

自らを律する

安心・安全な学校づくり

◆自分の命を自分で守る積極的な取組

- ・積極的な生徒指導の展開
- ・地域と共に歩む基崎中の創造
- ・SOSの出し方に関する教育
- ・不登校生徒の居場所の確保（校内フリースクール）
- ・共に見て、触って、揺らして確認する安全点検
- ・緊急時に備えた避難所設営の経験

共に学び高め合う教師集団

◆チーム基崎としての意識の高揚

- ・授業力の向上に努める授業研究とOJT研修の推進
- ・SC、SSW等との緊密な連携
- ・チームを意識した校務の運営
- ・コンプライアンス意識の高揚につながる同僚性の構築

魅力ある開かれた学校

◆地域の灯台としての自覚

- ・中学校生活体験による中1ギャップの防止
- ・コミュニティスクールの完全実施
- ・地域の教育資源の積極的な発掘と活用
- ・防災、地域愛をテーマに地域の灯台としての役割

働き方改革の推進

- ・地域と学校の協働活動による文化・スポーツ活動→高崎中との合同実施の模索
- ・クリティカルな視点で見つめ、新たに創造する基中スタイルの構築
- ・対時間効果と生徒目線を意識した業務内容の改善

令和6年度 荊崎学園つくば市立荊崎第二小学校の教育

県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

学校の教育目標

夢と希望の実現に向けて、心豊かにたくましく生きる児童の育成

つくば市の教育目標

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い・みんなが生き生きとした学校～

荊崎学園の教育目標

- ・自ら学び 豊かな人間性とたくましさ
を備え 未来を拓く児童・生徒の育成

校訓

かしこく なかよく たくましく

目指す学校像

- 学びとふれあいのある楽しい学校
- 児童の可能性を伸ばせる学校
- 安心・安全で地域に根ざした学校

目指す児童像

- ㊦ よく考え、進んで学ぶ児童
- ㊦ 思いやりをもち、協力できる児童
- ㊦ 安全に心がけ、体をきたえる児童

目指す教師像

- 人間性豊かで、信頼される教師
- 明るく児童への愛情のある教師
- 指導力があり積極性のある教師

学校経営の理念 『一人一人を大切にする 笑顔あふれる学校づくり』

組織目標

学ぶ楽しさを味わわせる授業づくりを通して、自ら学ぶ子を育てる。
よさを認め合う集団づくりを通して、自他を大切にする子を育てる。

《確かな学力の育成》

- 主体的・対話的で探究的な学びのある授業づくり
 - ・思考力、表現力を高める学習活動の工夫
 - ・学習端末の効果的な活用
 - ☆学ぶことが楽しいと答える児童 90%
- 自主的な家庭学習の習慣化
 - ・「家庭学習のてびき」の効果的な活用
 - ・学習端末活用した家庭学習の推進
 - ☆学習端末を活用した家庭学習ができる児童 80%
 - ☆年間 50 冊以上読書した児童 100%
- 特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインの授業
 - ・個別のニーズに応じた指導・支援
 - ☆学校の授業は分かりやすいと答える児童 90%

《豊かな心の育成》

- よさを認め合える、よさを発揮できる人間関係づくり
 - ・学級経営の充実
 - ・児童会活動の活性化
 - ☆自分にはよいところがあると言える児童 85%
 - ☆みんなの役に立っていると言える児童 70%
 - ☆夢や希望をもっている児童 85%
- 基本的な生活習慣・規範意識の定着
 - ・元気なあいさつの奨励
 - ・ルールメイキングの推進
 - ☆進んであいさつをしている児童 90%
- 道徳教育の充実と人権教育の推進
 - ・「考え議論する道徳」の推進
 - ・自分も他人も大切する児童の育成
 - ☆思いやりをもって生活している児童 95%

《健やかな体の育成》

- 命の大切さを基盤とした健康な心と体づくり
 - ・体育的行事への積極的参加
 - ・健康的な体づくりの習慣の確立
 - ・養護教諭による保健指導
 - ☆体育的行事にめあてをもって取り組んでいる児童 80%
 - ☆早寝・早起き・朝ご飯を守って生活している児童 80%
- 児童の危機回避能力を高める保健安全指導の充実
 - ・学校生活における保健安全指導
 - ・登下校の交通指導
 - ・交通安全教室
 - ・避難訓練
 - ☆安全に気を付けて生活している児童 90%

《家庭・地域との連携》

- 安全・安心、地域とともにある学校づくり
 - ・荊崎学園 CS 協議会
 - ・教育活動の情報発信（便り・HP）
 - ・緊急メール情報配信
 - ・地域連携防災会議
 - ・学校支援ボランティアの有効活用
 - ☆学校 HP 更新：週 5 回以上
- 保幼小中の連携・交流
 - ・相互授業参観
 - ・中学校生活体験学習
 - ・保幼小交流活動
 - ☆保幼小中交流活動 年 5 回以上

研究主題 根拠を基に筋道を立てて考え、表現する力を育てる
算数科学習指導の在り方

教職員の資質・能力の向上
・若手教員育成 ・コンプライアンス意識の醸成 ・働き方改革の推進

令和6年度 基崎学園つくば市立基崎第三小学校グランドデザイン

【茨城県教育目標】

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性を培う
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる



基崎三小

【学校教育目標】

自ら考え、進んで行動し、心やさしく、たくましい児童の育成
～夢や希望を抱き、一人一人が輝く学校づくり～



KUKIZAKI

【つくば市の目標】

- みんなが幸せを実感できる
学園・学校・幼稚園

【基崎学園の目標】

- 自ら学び
豊かな人間性とたくましさを備え
未来を拓く児童・生徒の育成

【校訓】

かしこく（知）
なかよく（徳）
たくましく（心と体）

目指す学校像

- 子どもたちの笑顔があふれる学校
- 教職員が元気で、働きがいのある学校
- 家庭地域と協働し、相互に教育力を高め合う学校

目指す児童像

- 主体的に生き生きと学びに向かう児童
- 思いやりのある児童
- たくましい心と体で、元気に生活する児童

目指す教師像

- 自己の使命を深く自覚し、研修に励む教師
- 人間性豊かで、子どもの気持ちがわかる教師
- 心身共に健康で、実践力のある教師

知（「学び続ける力」を育む授業づくりの推進）

- 1 主体的で対話的な深い学びを実現する授業改善
 - ・基礎・基本の確実な習得と学習規律の確立
 - ・校内研修の充実（探究を目指した授業の質的向上）
 - ・学びの系統性、連続性の重視（小中一貫教育）
 - ・読書50冊達成（100%）
 - ・ファシリテーターとしての資質向上（役割の具現化）
 - ・チーム（担任・副担任制）での教育力向上
 - ・地域の教育資源の有効活用
- 2 個別最適な学びと協働的な学びの推進
 - ・学び方の工夫（指導の個別化と学習の個性化）
 - ・1人1台端末の有効活用
 - ・課題解決に向けた協働的な学び合い
- 3 家庭学習との相互補完
 - ・ICTの効果的活用

徳（円滑な人間関係の醸成を図り、一人一人が自己決定し、認め合い高め合う集団づくりの推進）

- 1 規範意識の高揚
 - ・基本的生活習慣の確立（時を守り、場を清め、礼を正す）
 - ・自己決定できるルールメイキングの推進
- 2 心の教育の充実
 - ・考え、議論する道徳授業の推進
 - ・いじめ見逃しゼロを目指す相談体制の構築
 - ・発達段階に応じた人権教育の実施
 - ・夢や希望、目標につながる機会の充実
- 3 自己肯定感を育む教育の推進（認められる場の設定）
 - ・多様な考えを大切に特別活動の充実
 - ・認められる多様な場の設定（グッドジョブカードの活用）
 - ・保幼小中の連携による一貫教育の充実と異学年交流の活性化
 - ・家庭教育との連携、地域・外部人材との積極的な関わり

心・体（自己管理能力を高め、望ましい生活習慣の定着と体力づくりの推進）

- 1 体力・運動能力の向上（重点：投力、柔軟性）
 - ・体力向上プログラムの実施
- 2 健康、安全、防災教育の充実（CS[防災・地域愛]との連携）
 - ・生活安全、交通安全、災害安全、情報
- 3 特別支援教育の充実
 - ・コーディネーターを核としたチーム支援の推進
 - ・配慮を要する児童への共通理解と合理的配慮
 - ・通常の学級における指導の充実
- 4 安全安心な教育環境の整備の推進
 - ・感染症を予防する生活様式の確立
 - ・地域と連携した登下校の見守りの充実

家庭・地域との協働関係を大切にした 信頼される開かれた学校づくり

- 1 積極的な情報公開と運営面での継続的改善
 - ・学校公開、HP、学園・学校・学年だよりの充実
 - ・学校評価、教員評価でのPDCAサイクルの充実
 - ・コミュニティ・スクールの積極的運営

- 2 地域教育資源の積極的活用
 - ・地域コーディネーターの位置づけ
 - ・地域交流室の積極的な運営と人材発掘
 - ・地域の人的物的資源の活用

- 3 校内コンプライアンスの確立
 - ・ボトムアップ型研修の充実
 - ・研修会への外部人材の導入
 - ・良好な人間関係、職員室経営の充実

- 4 働き方改革の推進
 - ・校務の効率化（ICT活用、業務削減）
 - ・教材、教具、ワークシートの共有
 - ・地域人材・外部団体の効果的活用